

令和5年度年間授業計画

教科:日本の伝統・文化 科目:書の表現 校内科目名:書の表現
 教科担当者:丹尾富美子

対象年次:3

2単位

使用教科書・教材

配布プリント等

書道用具一式各自持参

	指導内容	指導目標	評価の観点・方法	予定授業時数
1 学期	<1学期> 1 創作作品制作 (1) 漢字仮名交じりの書の学習 (2) 自分で選んだ詩や俳句、小説の一節や歌詞などを素材として、表現方法を工夫しながら漢字仮名交じりの書作品の制作 (3) 展示の際の効果を高めるように布やパネルに表装を行う 2 日本の伝統工芸と書 (1) 蒔絵技法を取り入れた書作品の制作	・書の文化や伝統について理解を深め、個性豊かな表現方法を習得する。 ・漢字と仮名を調和させながら、ねらいにそった表現ができるよう、用具・用材、全体構成などを工夫し、漢字仮名交じりの書の制作を行う。 ・和紙にマーブリング(墨流し)やぼかし染めで加工を施す。 ・蒔絵について理解し、文字の表現や工夫の方法を習得する。	1 課題提出 2 授業に取り組む態度 3 出席状況・忘れ物 4 書の技法を身につけ多様な表現が習得できているか 5 作品の仕上がり程度	22
2 学期	<2学期> 3 日本の伝統文化と書 (1) 写経や百人一首などの伝統的な文化を素材とした臨書作品を制作する 4 和綴じ本の制作 (1) 友禅和紙で表紙の作成 (2) 臨書作品を和綴じする 5 篆刻の学習 (1) 篆刻について (2) 1字印の制作	・実用文や手紙文に生かせる小字の書や仮名の書から選択し、鑑賞と臨書をとおして特徴を理解する。 ・表紙を友禅和紙で作成し、臨書作品と表紙を糸で和表装で綴じること、書の伝統と文化の理解を深める。 ・1字印の制作をとおして、篆刻の手順と技法を理解する。 ・印を刻し作品に押印する。	1 課題提出 2 授業に取り組む態度 3 出席状況・忘れ物 4 書の技法を身につけ多様な表現が習得できているか 5 作品の仕上がり程度	28
3 学期	<3学期> 6 日本の伝統の書 (1) 仮名の学習 (2) 料紙、色紙、短冊などに書く 7 実用の書の学習	・仮名の料紙や散らし書きなど、日本の伝統美を理解する。 ・生活の中の書の書き方を再認識し、その意義や効果を考える。	1 課題提出 2 授業に取り組む態度 3 出席状況・忘れ物 4 書の技法を身につけ多様な表現が習得できているか 5 作品の仕上がり程度	20
			合計	70